

# とっとり 県議会だより

No.018  
Sep.  
9 月議会

## ↓ 主な記事 Contents

代表質問	2~3p
一般質問	4~8p
お知らせ	8p
委員会活動	9p
議決結果	10~11p
高校生議会	12p

編集・発行…鳥取県議会  
県議会広報紙…年4回発行  
平成28年12月1日発行



「陽光」 住田春菜(米子高校)撮影

## ● 9月定例会の概要

9月定例会は9月14日、平井知事から総額281億2千万円余の平成28年度鳥取県一般会計補正予算やあいサポート運動の発祥地である鳥取県の精神を生かし、交通安全に向け社会ぐるみの活動を進めるための「鳥取県支え愛交通安全条例」など17議案が提案されて開会した。

代表質問は鳥取県議会自由民主党と会派民進党の2会派が行い、一般質問には24名が登壇。知事らと活発な議論を展開した。

会期中には、教育委員会委員などの人事案件8議案と長雨の被害を受けたブロッコリーの緊急支援等のため一般会計補正予算が追加提案

された。

審議の結果、「鳥取県犯罪のないまちづくり推進条例」において、防犯カメラによって不当に人権が侵害されることのないように必要な措置を求めるなどの意見を付して条例を可決するなど知事提出議案については、24議案を可決、同意。決算認定2議案を継続審査とした。議員提出議案については、「参議院選挙における合区の解消を求める意見書」など6議案を提案し、原案どおり可決した。

請願、陳情は、私学助成に関する意見書の提出を求める陳情など2件が採択となったほか、2件を趣旨採択、4件を研究留保、5件を不採択と決し、10月12日に29日間の会期を閉じた。

### 地震による 被害のお見舞いを 申し上げます

10月21日に発災した鳥取県中部を震源とする地震により被害を受けられました多くの皆様に、心からお見舞いを申し上げます。

本県議会は、地震被害の早期復旧が図られるよう、県当局と一体となって対応してまいります。

# 代表質問

## 鳥取県議会自由民主党

選挙区 鳥取市  
島谷 龍司 議員



### 国の経済対策への対応について

**問** 子育て支援など一億総活躍社会実現への加速をはじめとした国の2次補正予算に呼応し、地方創生の本格展開を目指す本県として、9月補正予算において何に重点を置いて集中投下されるのか。

**答** 今回の国の経済対策は、一億総活躍関係、未来への投資、地方創生の推進等の中で実効性が早く上がるものを重点的に、28兆1千億円という大きな規模でまとめられている。本県は、この経済対策の効果を早く出すため、河川土砂災害対策をはじめとした防災関係予算、地域経済を刺激、底上げするための農林水産、商工関係予算、1万人正規雇用実現のための非正規から正規雇用への促進予算などを計上している。

### 障がい者の尊厳について

**問** 障がい者福祉の先駆者である本県出身の糸賀一雄先生の「この子らを世の光に」という言葉があるが、親にとって「この子らは生まれた時から世の光」になっている。7月に発生した相模原市での障がい者など社会的弱者を対象とした凄惨な事件を2度と起こさせないためにも、施設自体の防犯体制強化はもちろん、行政と警察の今以上の連携強化が必要である。また、今回の事件により共生社会実現への歩みが阻害されるのではないかと危惧するが知事の所見を伺う。

**答** 障がい者施設等への防犯対策については、今回の補正予算で防犯グッズの整備費用を計上するとともに警察と連携して防犯マニュアルを作成している。また、共生社会実現への観点から、「あいサポート運動」の原点としての本県が、障がい者基本条例あるいは「あいサポート」条例というような障がい者対策のバイブルと言えるような条例を制定し、障がい者も健全者もお互いに理解しあい、社会に存在する様々なバリアを乗り越えていく必要があると考えている。

### 鳥取港の振興について

**問** 重要港湾である鳥取港は、県東中部の拠点港だが、境港に比べ外貨や大型クルーズ船の利用が極端に少ない現状があり、物流面のみならず観光など県東中部地域の様々な産業へ大きな影響を与えていると考えられる。TPPなどグローバル化が進展する中で、鳥取港振興への取り組みを知事に伺う。

**答** 現在まで鳥取港の貨物利用は建設資材が主流であり、公共事業量に左右されてきたが、最近になって三洋製紙のヤシ殻輸入や県内業者による木材輸出などが行われており、本県としてパケット設置などの港湾施設の整備、荷役補助制度の創設、植物検疫に対する国への働きかけなどを実施するとともに、今秋にも鳥取市や鳥取港利用関係者と鳥取港の利用促進のための検討協議会を立ち上げたいと考えている。

### 障がい者スポーツ拠点化について

**問** 今春2日間に亘り、布勢総合運動公園陸上競技場において日本パラ陸上競技選手権大会が開催され、世界新記録などの好記録の誕生に会場中が湧いたが、施設について関係者から高い評価を受けたと伺っている。昨年11月に日本一のボランティア先進県を目指して、日本財団と締結された共同プロジェクトでは布勢総合運動公園を障がい者スポーツの拠点として整備するとされているが、整備計画と整備後の施設運営について知事に伺う。

**答** 春の日本パラ陸上開催に際して、段差の解消による容易な移動の実現や投てき競技における日本のどこにもないような固定設備の設置などが関係者から非常に評価された。また、障がいの詳細表示ができる電光掲示板の整備により判りやすく親しみやすい競技場になったと高く評価された。今後東京パラリンピックの合宿もありうると考えるが、パラリンピック後の障がい者スポーツの聖地化も考えられる。早急に有識者も含め日本財団とともに検討委員会を立ち上げ、布勢総合運動公園の障がい者対応について、スポーツ医学との接点や地元の経営資源などさまざまな資源との組み合わせによる整備をデザインしていきたいと考える。

# 代表質問

## 会派民進党

選挙区 米子市  
浜田 妙子 議員



### 北朝鮮の行動への対応を問う

**問** 弾道ミサイル発射、地下核実験の動向について、経過と県の対応状況は。県民、特に不安が広がる漁業者へ信頼できる情報提供を。

**答** 憤りをもって対処する。政府に国際社会と相まった毅然たる対応を望む。漁業者への対策を求めている。県民へも必要な情報を適切に提供する。

### 今後の国との向き合い方

**問** ①参議院選合区の所見を問う②安倍総理が選挙中憲法問題に触れず勝った途端改憲へと動き出した行動への所見は③主権者教育の必要性を問う

**答** ①これまで参議院には地域代表としての性格が与えられてきた。合区解消はこれからが勝負どころであり、国会や政府に働きかけていきたい②自民党は国民の中での議論を公約にしておき、国会の議論に注目をしていくべき③主権者教育については、教育委員会と連携しサポートしていく。

### 借金、臨時財政対策債への対応

**問** 10%消費税先送り、社会保障費年間20億円増、交付税右肩下がり、膨らみ続ける臨時財債をどうするか。不利益とその打開策を問う。この財政状況を県民にわかり易く情報提供すべきだ。

**答** 交付税の身代わり財源と言える臨時財債は縮小されるべきで、知事会でも主張している。交付税の引き上げが重要で負のスパイラルを断ち切れるよう国に働きかける。県の財政状況は県民にわかりやすい言葉や説明の仕方を工夫したい。

### 一人親家庭と貧困対策

**問** シングルマザーと子どものために、パーソナルな寄り添いサポートが就労まで必要①市町村格差を生まないようすべき②母子会の取り組む日常生活支援事業のPRと支援員養成への工夫を。

**答** ①市町村と協働しながら体制づくりを進めてい

く②養成研修は改善の余地がある。母子会の方々と相談し、さらに活用されるよう働きかけていく。

### 被害者も加害者も出さない社会

**問** 全国に妊娠SOSの取組みが広がっている。鳥取県も助産師会との連携で取り組んで欲しい。刑務所出所者再犯防止のため、協力雇用主への公共工事の加点制や県庁での雇用を検討してはどうか。

**答** 助産師会と相談し、今後充実を図る。出所者支援のため加点制については業界と相談したい。県で就労の一翼が担えれば一定の支援に乗り出したい。

### 手話言語条例が出来て3年

**問** 3年経ち、ろうあ者が自ら立ち上がる動きに対し支援をすべき。手話の出来る人の見える化を。

**答** ろうあ者へ様々な形で今後もサポートを提供したい。手話バッジが配布できるようになった。付けてもらえる資格等工夫してみたい。

### エネルギー問題

**問** ①グリーン再生エネルギー推進にふさわしい鳥取県である。パリ協定の年内発効も考えられ、省エネ県民運動を進めたらどうか。②原子力安全対策に係る人件費は国の交付金対象外。今後不足する防災費を中国電力に要求すべきだ。

**答** ①県の温室効果ガス削減目標は国より高い26.9%としており、消費者団体や企業も巻き込み県民運動の再興を図る。②原子力発電の安全対策は最低の前提条件。中電からの基金は29年度位で底をつく。中電には追加の措置を求める必要がある。

### 教育現場を元気に

**問** 子ども達が今を生き抜く力をつけるため平和・第一次産業・人権を教育の三本柱として提案する。①外部の支援員を教育現場で活かしきれていない②発達障がいに対応にOT(※1)活用を③インクルーシブ教育(※2)を進めるための取り組みは。

**答** (教育長)①どの学校でもケース会議や定期的な情報交換が行われるようにしていく。各学校に担当を決めて取り組んでいく②学校現場と連携できるようOT協会と意見交換し、仕組み作りを考えたい③専門的な指導、助言を行う支援チームを立ち上げた。充実に向け進捗状況を管理し取り組んでいく。

※1 OT … 作業療法士

※2 インクルーシブ教育 … 障がいのある子どもと障がいのない子どもが可能な限り共に学ぶ教育

# 一般質問

9月定例会では、24人の議員が一般質問を行いました。

本紙では、各議員の質問の中から、質問と答弁の要旨を掲載します。

なお、議事録の全文は、県議会ホームページからご覧になれます。

鳥取県議会

検索

## 県内農業インフラの整備について



福田 俊史 議員

選挙区 八頭郡  
会派 自由民主党

**問** 国は農業インフラ整備に予算を重点配分しており、八頭町の安藤用水をはじめとする県内の老朽化した農業用水路やため池などの改修が進むのではないかと大きく期待をしているが、平井知事の所見を問う。

**答** 農業インフラについては、ここ数年事業費的に停滞ぎみで厳しい状況があったが国の政策の変革を上手に捉えて促進策を打っていきたい。県議会での議論を踏まえて、負担を最小化するよう地元の市町村と割り勘で出来る仕組みを作っている。

## 自転車のヘルメット努力義務化



松田 正 議員

選挙区 米子市  
会派 自由民主党

**問** 愛媛県では高校生の自転車通学でのヘルメット着用を義務化し、無償配布している。今回の支え愛交通安全条例制定に併せて検討してはいかがか。

**答** 条例制定後は高校生以下が対象になる。中学、高校を通じて使用可能な、格好いいヘルメットをつくりましようというところに、県が半額助成するといった間接補助のような形もあるかもしれない。市町村と協力し、地域のコミュニティーと一緒に子どもたちの安全を守るための話し合いを始めたい。

## 森林環境保全税の今後のあり方



前田 八壽彦 議員

選挙区 鳥取市  
会派 自由民主党

**問** 個人及び法人県民税に上乘せする森林環境保全税は、平成29年度で現制度の適用期間が終了する。環境の森緊急整備事業の利用の低下、皆伐・再造林の促進、里山林の保全などの課題があるが、今後どうするのか。

**答** 現段階では白紙。これから議会、県民の皆様と協議を重ね、森と県民みんなとの関係を考えていく。ほぼ定着してきたということで現状をもとにしながら細部の検討を進めていく。追々手順を踏みながら新年度の秋頃には、議会に相談したい。

## 県立美術館構想実現に向けて



坂野 経三郎 議員

選挙区 鳥取市  
会派 民進党

**問** 独自に100名超の県民の方に意見を聞いた結果「美術館は必要ない」が過半数だった。だが、美術館構想は再凍結させたくない。静岡県では120億円かけて博物館を整備する予定だったが、廃校をリノベーションして12億円でふじのくに地球環境史ミュージアムが誕生。長野市の戸隠地質化石博物館も同様。このような例を県民アンケートで提示して県民の皆さんに選んでもらうべきではないか。

**答** (教育長) 現実問題として美術館に使える廃校舎がない。

## がん・自死対策、乳幼児保護等



藤井 一博 議員

選挙区 東伯郡  
会派 自由民主党

**問** ①今後のがん対策はどう進めるか②自死対策はどう考えるか③乳幼児保護の対策は④自転車交通安全の強化について

**答** ①本県で罹患率の高い肝がん対策や、胃がんにおけるピロリ菌対策など新たな視点も加え取り組んでいく。受動喫煙対策について中部医師会の動きなど応援していく②働き盛り世代の自死も含め対策強化を進める③特別養子縁組制度など普及を促す④自転車利用と事故防止の協議会など、県内横断的な組織の設立が必要であると考えている。

## 地域・水産・観光 施策の諸課題



野坂 道明 議員

選挙区 米子市  
会派 自由民主党

**問** ①米子境港都市計画区域の開発基準等に関する県と市の条例の整合を図るべき②境港高度衛生管理型市場の工事発注は地元業者にすべき③観光先進県を目指し鳥取県版観光インフラ整備計画を策定すべき。

**答** ①条例改正を検討中なので今日の議論を踏まえ対応を図りたい②工事発注についても県内事業者での地産地消型を基本に進めたい③ハードソフト両面での観光インフラ整備プログラムは必要でありソフトハードを含めての点検をやっていきたい。

## 地域包括ケアシステム 早期構築推進



濱辺 義孝 議員

選挙区 鳥取市  
会派 公明党

**問** 地域包括ケアシステム構築にあたり、地域住民に情報が少ない為に不安が高まっている。システム構築にあたり、関係団体、事業所等の協力体制をつくるために、県が積極的に取り組むべきと考えるが知事に問う。

**答** 県の方でも緊急に窓口を設置し、市町村が確実に新年度しっかりとした体制になるように取り組んでいく。全市町村を回りどこに問題があるのか、問題点については丁寧に指導を行い土壌づくりをし、新年度が迎えられるようにしたい。

## 皆伐再造林へ 健康寿命の延伸を



西川 憲雄 議員

選挙区 八頭郡  
会派 自由民主党

**問** ①「現在ある森林の整備」と「新たな森づくり」の両にらみから、森林資源の基本である苗木生産の支援が重要。所見を伺う②健康寿命の延伸こそ、住民にも将来の財政負担にも優しい取組みと考えるがいかがか。

**答** ①関係者の意見を聞き、他県の状況を情報収集して林業政策全体の調整を図る必要がある②健康づくりがうまくいけば、社会保障の負担が軽減され、何より幸せに人生を全うできる。健康づくりに一定の人的資源や財政資金を割くのは正論だ。

## 県立美術館推進 外国人観光客増へ



興治 英夫 議員

選挙区 倉吉市  
会派 民進党

**問** ①美術館の県民意識調査では、建設による一般財源支出の影響がわずかなことや、候補地評価専門委員会の客観的な評価表を県民に示すべきだ。

②訪日外国人旅行者を、関西や羽田から県内に誘客すべきだ。

**答** ①議員の財政分析に違和感はない。(教育長)候補地はわかりやすい判断材料を県民に示して次回調査する。②訪日外国人向けJRパスの改善を働きかけ、バス補助金は県内一泊でも交付するよう見直す。羽田からの誘客は重点事項として取り組む。

## 県立美術館の 在り方について



福浜 隆宏 議員

選挙区 鳥取市  
会派 無所属

**問** ①県全体の美術振興を図るため美術館建設だけでなく身近で美術に触れられるよう県内美術施設との連携も強化すべき②県民3千人アンケート結果に対する重みと設問が分かりづらい③美術芸術施設を束ねた県版トリエンナーレ(※1)開催の検討を

**答** ①図書館のようなネットワーク型の運営法を県教委には考えて頂ければ②重い民意として受け止め尊重すべき。端的にイエス・ノーという聞き方も出来ると思う③県立美術館が出来れば面的フェスタも考えられる。

## 水道料金徴収問題 鳥取空港空の駅へ



銀杏 泰利 議員

選挙区 鳥取市  
会派 公明党

**問** ①県営住宅の水道料金集金委託費用の負担は、県の対応に差を設けないように②鳥取砂丘コナン空港で連続離発着する場合CIQ(※2)に課題がないか③鳥取空港賀露線に屋根つきバス停、休憩所を設置すべし④鳥取砂丘コナン空港の滑走路を延長すること。

**答** ①解決策を当初予算などに向けて検討する②銀杏議員に調整もして頂き支障なくなった③今後検討する④少し時間をかけながら、真摯にこの課題に向き合っていく。

※1 トリエンナーレ… 3年に一度開かれる国際美術展覧会  
※2 CIQ… 税関、出入国管理、検疫を包括した略称

## 観光を成長戦略の 大きな柱に



広谷 直樹 議員

選挙区 岩美郡  
会派 自由民主党

**問** ①地域連携DMOに対する支援とジオパーク推進協議会との連携はどのように考えているか  
②来春運行の寝台特急「瑞風」は本県の観光振興とイメージアップに効果が大きい。県としての支援は  
③将来の観光事業に貢献する人材を育てるため県立高校に「観光科」の設置を。

**答** ①事業仕立てに応じた支援と情報共有を図る②成功を目指して資金面・ハード面を手際よく支援を進める③(教育長)岩美高が観光関連教科を設けている。更なる充実策を考えたい。

## 美術館整備に もう一つの提案



木村 和久 議員

選挙区 鳥取市  
会派 民進党

**問** 県民のそばに多数のアート拠点を整備するアートバレー構想を提案する。知事の客観的・合理的事実による判断や、前提を置かない議論をとる思いからしても、議論の俎上にのせない理由はないと思う。いかがか。

**答** アートバレー構想のような全県的展開には賛同。また、アンケートで、美術部門を博物館に残すことも選択肢としても問うてみれば、一つ議論が成立され、民意がどの辺にあるかということをもう一度判定する材料ができるのではないと思う。

## 山陰新幹線整備と 並行在来線の扱い



長谷川 稔 議員

選挙区 倉吉市  
会派 無所属

**問** 山陰新幹線の整備検討は、並行在来線問題や財政負担、フリーゲージトレイン方式との優先劣後の選択、他県との調整など課題が多い。新幹線問題に強い関心を持つ一方で、慎重な態度を保持する知事の所見は。

**答** 新幹線は大きな課題で、少し遠くをみながら議論することになる。手を挙げないのか、手を挙げて走りながら考えるのか、その作戦を練るべき時期が来ると思う。在来線については、今後も高速化やダイヤなど県民の利便性の向上を図っていく。

## アカトンボと水稲 苗箱施用農薬



森 雅幹 議員

選挙区 米子市  
会派 民進党

**問** アカトンボ激減にネオニコ系(※)水稲苗箱施用農薬の関与が疑われている。宮城県JAみどりは生協からの意見で、水稲栽培でネオニコ系農薬使用をやめた。本県でもできないか？

**答** 減農薬栽培の日野特別栽培研究会はH23から苗箱施用剤を非ネオニコ系に変えているが、病害虫の問題なく経過している。この例を他の生産組織等に紹介するとともに、試験場、普及所を通して各地域に提供し、希望者に農薬体系について指導をしていきたい。

## 共生社会に向けた 療育体制の強化



浜崎 晋一 議員

選挙区 鳥取市  
会派 自由民主党

**問** ①障害者総合支援法等の改正を受けて医療的ケア児をどう支援するか。②最近外来が急増し、狭隘化が著しい中部療育園について、早く建て替える必要があるのではないか。

**答** ①日本財団と協議の上、小児在宅支援センターや地域連携ハブの設置など、全国のモデルとなるよう取り組んでいきたい。②中部療育園は整備が必要だと思うが、場所については養護学校や厚生病院との関係を勘案しながら、あるべき方向性を模索していきたい。

## 大山・山頂に生息 するヒメボタル



澤 紀男 議員

選挙区 米子市  
会派 公明党

**問** 大山の山頂に生息するヒメボタルの生態調査が行われている。火山質土壌の大山での植物学、地質学、火山学等の総合的見地からの継続調査について知事に伺う。

**答** 大山山頂のヒメボタルが素晴らしいのは一木一石運動により植生が回復され、それがさらにホタルの乱舞につながり、生態系が大山山頂でよみがえった。生態調査については来年、再来年度と重点的に行い、いろいろな資料を収集し知見を得ながら今後の対応を考えていく。

※ ネオニコ系…ネオニコチノイド系の略

## 保育・TPP批准 中止・産廃問題



錦織 陽子 議員

選挙区 米子市  
会派 共産党

**問** ①保育士の処遇改善に県独自の賃金補助を②TPP批准中止を求めよ③県環境管理センターは産廃処分場計画案の詳細版を条例手続き前に住民に提出し、知事は署名を受け取るべき。

**答** ①まず国で財源確保を。更に民間でもやっている処遇改善を市町村長に配慮を促した②農業者の犠牲の上に国益が成り立ってはいらない。国会の動きを見守る。農業対策強化を政府に働きかける③条例手続きに入っても意見を聞く期間は十分確保されている。統轄監が対応する。

## 空中給油機、海外 出張、美術館建設



市谷 知子 議員

選挙区 鳥取市  
会派 共産党

**問** ①美保基地への新空中給油機配備は、オスプレイ等米軍機への給油機能倍増で米軍の給油基地化だ。「空飛ぶガソリンスタンド」と言われ危険。過去に空中給油訓練中の接触で戦闘機が墜落。配備を断ること②知事任期中の海外出張回数全国2位、職員参加216人で成果は③美術館は県借金増加の資料もないアンケートでなく一から検討のやり直しを。

**答** ①期限切らず、慎重に見極める②一定成果あるがうまくいかない事も③公約で「建設へ」と封印解除。慎重にまとめる。



## 新米子駅ビル 魅力ある開発を



内田 隆嗣 議員

選挙区 米子市  
会派 自由民主党

**問** 新米子駅ビルはもっと魅力ある開発とするべき。例えば、PPP方式、PFI方式(※)を導入してJR、米子市、鳥取県のテナントを核に病院や特養、保育所、ショッピング、飲食テナントを内包した複合施設として、高齢者住宅や建売マンション、ホテルを上層部に完備した鳥取県西部のシンボルタワーをつくる。先進事例は全国各地にあり、自治体の持ち出しがゼロという例もある。所見を伺う。

**答** いろんな魅力あるアイデアはある、本当は考えていくべき。

## 自然災害・スポーツ 振興・農業振興



横山 隆義 議員

選挙区 東伯郡  
会派 希望(のぞみ)

**問** ①自然災害に対する備えは十分か。②鳥取県スポーツ振興には、選手と指導者の環境整備が重要ではないか。③規制緩和など養父市の取組を調査研究し農業振興に生かしてはどうか。

**答** ①想定されるものについては、シミュレーションし計画立案や避難訓練に今後も取り組む。②競技団体とも話し合いソフト面ハード面も含めた競技環境、コーチ環境を整えたい。③養父市の挑戦は大いに評価したい。県職員を派遣し調査研究してみたい。

## 美術館建設と財政 の課題について



川部 洋 議員

選挙区 倉吉市  
会派 希望(のぞみ)

**問** 美術館の建設と財政の問題を両立するには、PFI等による民間の知恵と資金の活用と、既存の文化施設とのネットワーク化と機能分担による規模の縮減が必要だと考えるがどうか？

**答** PFI、PPP(※)については、知事部局で検討のステージに入らなければならないと思う。ネットワーク化には違和感はない。中核となる組織と各地域拠点とのネットワークで恩恵が全体に渡るようにし、一部機能を縮減してリーズナブルな形が可能なら検討のしどころだと思う。

※ PPP、PFI … 官と民がパートナーを組んで事業を行う新しい官民連携の形態。民間事業者の資金やノウハウを活用して公共施設の整備・運営を行う手法。

## 公共交通 ネットワークづくり



**福間 裕隆 議員**

選挙区 西伯郡  
会 派 民進党

**問** ①公共交通機関を残すために、みんなが率先をして公共交通機関を使う、そういう機運をつくるべきだ②公共バスを使った方が便利で早く到着できるという機運を高めるため、バス優先レーンを設置してはどうか。

**答** ①バス路線を使うということで取り組んでいただく地域をふやすように運動を始めてみたい。  
②（警察本部長）今後の交通実態や道路改良等を踏まえて、道路管理者、運輸支局、バス事業者等、関係機関と連携を図りながら取り組んでいきたい。

## 交流新時代への 対応



**安田 優子 議員**

選挙区 境港市  
会 派 自由民主党

**問** ①竹内団地夢みなと公園の再活用と岸壁までの道路の4車線化を②世界に向けて大山を売り出そうとするときに当たり全庁を挙げての体制をとるべき。

**答** ①夢みなと公園は今後賑わい施設としても大きな意味をもつのではないかと。サイクリングロードとしても使うようにするのでサイクリストの憩いの場になって欲しい。4車線化は境港市の総合計画等を含め検討していく②副知事をトップにして大山振興室を西部総合事務所の中につくることにする。

### 会派正式名称

- 【自由民主党】  
鳥取県議会自由民主党
- 【民進党】  
会派民進党
- 【公明党】  
公明党鳥取県議会議員団
- 【希望<sup>のぞみ</sup>】  
鳥取県議会会派希望
- 【共産党】  
日本共産党鳥取県議会議員団

### 答弁者説明

答弁者は、記載のないものは知事（各部署局長の答弁を含む）。教育長、警察本部長は知事の部局ではないため別に表記した。

## お知らせ

### 県議会を傍聴しませんか

県議会の審議は公開されており、どなたでも本会議、委員会などの会議を傍聴できます。

暮らしに直結する審議が、どのように進められているのか、直接見てみませんか。議会日程をご確認のうえ、県議会においでください。

※傍聴席に同時手話通訳が見られるディスプレイを設置しています。手話通訳を希望される方の事前申込みが不要となりました。

※音声を聞き取りづらい方には、補聴イヤホンの貸出しもあります。お気軽にご利用ください。

※昨年9月定例会から乳幼児を連れての傍聴が可能となりました。0歳から小学校入学前までのお子様も事前の許可なく傍聴ができます。

なお、従来から実施している託児サービスも引き続き行っています。ご希望の方は5日前までに県議会事務局へお申し込みください。

### ネットでもご覧になれます

本会議、常任委員会、全員協議会はインターネット（<http://www.pref.tottori.lg.jp/gikai/>）で生中継と録画中継をしています。本会議はケーブルテレビでも放送しています。

※ ご不明な点はお気軽に県議会事務局総務課（☎0857-26-7460）へお問い合わせ下さい。

### 11月定例会の日程案 ※日程は変更の可能性があります。

期 日	日 程
11月25日(金)	本 会 議 (開会・提案理由説明)
28日(月)	常任委員会
30日(水)	本 会 議 (代表質問)
12月 2日(金)	本 会 議 (一般質問・質疑)
5日(月)	
7日(水)	
8日(木)	
12日(月)	常任委員会
13日(火)	
15日(木)	特別委員会
16日(金)	本 会 議 (採決・閉会)
19日(月)	

# 常任委員会活動

鳥取県議会には4つの常任委員会があり、定例会中の付託案件の審議に加え、閉会中も継続審査や県内外調査、勉強会などの活動を続けています。

## 総務教育常任委員会



9月定例会では、本委員会所管の28年度一般会計補正予算などの4件の議案について、慎重審議の結果、いずれも原案どおり可決すべきものと決定した。

併せて陳情の審査を行い、学校における交通ルールの周知徹底を求める陳情は趣旨採択、県立高等学校の数の維持と学級定員の引下げを求める継続の陳情は、研究留保として引き続き議論することに決定した。

県外調査では、東洋大学において国のPPP/PFIの政策動向について調査するとともに、PFI方式を活用した美術館整備第1号である神奈川県立近代美術館の取組について話を伺った。この中で、神奈川県立近代美術館では、基本設計終了後にPFIを導入したため、本来メリットとなるべき民間の創意工夫が活かしきれなかったという反省点を伺い、PFI導入の検討時期の重要性を認識した。

## 福祉生活病院常任委員会



9月定例会では、本委員会所管の平成28年度一般会計補正予算をはじめとした5件の議案について、慎重に審議を行った結果、いずれも原案どおり可決すべきものと決定した。

なお、鳥取県犯罪のないまちづくり推進条例の一部改正については、附帯意見を付すべきと決定した。

また、新たに提出された陳情が3件あり、理容師法施行条例に洗髪設備の設置を義務化する規定の追加を求めるものは研究のため留保、企業ポイントについて消費者の保護措置を講じる意見書の提出を求めるもの、原子炉を再稼働させず再生可能な自然エネルギーへの転換を求める意見書の提出を求めるものは、いずれも不採択と決定した。

県外調査では、長野県と石川県を訪問し、障がい者と地域住民との多世代交流や子育て支援等の取組を調査した。

## 農林水産商工常任委員会



9月定例会では、本委員会所管の平成28年度鳥取県一般会計補正予算などの5議案を慎重に審議し、いずれも原案のとおり可決

すべきものと決定した。

補正予算の主な事業は、境漁港に高度衛生管理型市場を整備する事業、長雨によるブロッコリー被害への緊急支援事業などがあった。

併せて請願・陳情の審査を行い、臨時国会でTPP協定を批准しないことを求める意見書の提出を求めるものについては不採択、「特殊土壌地帯災害防除及び振興臨時措置法」の期限延長を求める意見書の提出を求めるものについては採択と決定し、同意見書を農林水産商工常任委員会から発議するよう全会一致で決定した。

また、8月に新潟県、富山県を訪問し、稲作振興施策や地域農業の振興施策、冬期林業チャレンジ支援事業、薬事に関する研究等を調査した。

## 地域振興県土警察常任委員会



7月27日、国土交通省を訪問し、道路局長他に対し、「高速道路ネットワークの未整備区間の解消と暫定2車線区間の全線4車線化」

などに関して、要望を行った。

また、8月16日～18日には、北海道及び青森県において、公立大学の運営、観光客の誘致、原子燃料サイクル施設などについて調査を実施した。

9月定例会においては、「平成28年度鳥取県一般会計補正予算」など5議案について慎重に審議を行った。その結果、いずれの議案も妥当なものと認め、原案のとおり可決すべきものと決定した。

加えて、新規の陳情5件及び継続分の陳情1件について慎重に審査した。このうち、私学助成に関する意見書の提出を求める陳情については採択と決定したほか、1件が趣旨採択、2件が研究留保、2件が不採択と決定した。

## 平成28年9月定例会付議案等議決結果(賛否が分かれた議案及び否決された議案)

議案等番号	件名	自由民主党							
		稲田 寿久	上村 忠史	内田 隆嗣	内田 博長	島谷 龍司	中島 規夫	西川 憲雄	
①	平成28年度鳥取県一般会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	
⑥	鳥取県附属機関条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	
⑦	鳥取県基金条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	
	(附帯意見)鳥取県犯罪のないまちづくり推進条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	
⑩	財産を無償で貸し付けること(境港外港竹内地区ふ頭予定地)について	○	○	○	○	○	○	○	
①	参議院選挙における合区の解消を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	
②	地方議会議員の厚生年金への加入を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	
議案等番号	件名	委員長報告							
請願28年-26	臨時国会でTPP協定を批准しないことを求める意見書の提出について	不採択	○	○	○	○	○	○	○
陳情27年-12	県立高等学校の数の維持と学級定員の引下げを求めることについて	研究留保	○	○	○	○	○	○	○
陳情28年-10	16歳未満の年少者のゲームセンターへの保護者同伴立入規制の緩和について	研究留保	○	○	○	○	○	○	○
陳情28年-16	参議院議員選挙における鳥取県及び島根県選挙区の合区解消を求める意見書の提出について	趣旨採択	○	○	○	○	○	○	○
陳情28年-19	理容所への洗髪設備の設置に係る理容師法施行条例の改正について	研究留保	○	○	○	○	○	○	○
陳情28年-21	河北小学校付近の道路における交通安全の確保について	不採択	○	○	○	○	○	○	○
陳情28年-22	企業ポイントの法的保護に係る意見書の提出について	不採択	○	○	○	○	○	○	○
陳情28年-23	風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律施行条例における現行の16歳未満の年少者に係るゲームセンターへの立ち入り制限の維持について	研究留保	○	○	○	○	○	○	○
陳情28年-24	原子炉を再稼働させず、原子力に頼らないエネルギー政策への転換を求める意見書の提出について	不採択	○	○	○	○	○	○	○
陳情28年-25	南スーダンに派遣されている自衛隊に「駆けつけ警護」と「宿营地共同防護」の任務を付与しないよう求める意見書の提出について	不採択	○	○	○	○	○	○	○

【凡例】 議案等番号…○数字は知事提出議案、●数字は議員提出議案  
賛否欄…「○」賛成、「×」反対、「議」議長。

※請願・陳情は、委員長報告に対して、賛成であれば「○」、反対であれば「×」と記載した。

## 平成28年9月定例会付議案等議決結果(全会一致で議決された議案)

議案等番号	件名	議決結果
②	平成28年度鳥取県営電気事業会計補正予算	可決
③	平成28年度鳥取県営埋立事業会計補正予算	可決
④	平成28年度鳥取県営病院事業会計補正予算	可決
⑤	鳥取県税条例の一部改正について	可決
⑧	鳥取県警察本部の内部組織に関する条例の一部改正について	可決
⑨	工事請負契約(国道482号(つく米バイパス)わかさ氷ノ山トンネル工事(交付金改良))の締結について	可決
⑪	財産の取得(クローラクレーン)について	可決
⑫	損害賠償に係る和解及び損害賠償の額の決定について	可決
⑬	第4次鳥取県男女共同参画計画の策定について	可決
⑭	公の施設の指定管理者の指定(鳥取県営東山水泳場)について	可決
⑮	平成27年度鳥取県営電気事業会計未処分利益剰余金の処分及び平成27年度鳥取県営企業決算の認定について	継続審査
⑯	平成27年度鳥取県営病院事業会計資本剰余金の処分及び平成27年度鳥取県営病院事業決算の認定について	継続審査
⑰	鳥取県支え愛交通安全条例の設定について	可決
⑱	鳥取県教育委員会委員の任命について	同意

自由民主党										民進党						公明党		のぞみ 希望	共産党		無所属		賛成者数	反対者数	表決者数	議決結果						
野坂道明	浜崎晋一	浜田一哉	広谷直樹	福田俊史	藤井一博	藤縄喜和	前田八壽彦	松田正	安田優子	山口享	斉木正一	伊藤保	興治英夫	木村和久	坂野経三郎	浜田妙子	福岡裕隆	森雅幹	銀杏泰利	澤紀男	濱辺義孝	川部洋					横山隆義	市谷知子	錦織陽子	長谷川稔	福浜隆宏	
<b>議案に対する賛否</b>																																
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	32	2	34	可決
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	32	2	34	可決
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	32	2	34	可決	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	32	2	34	可決	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	32	2	34	可決	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	32	2	34	可決	
<b>委員長報告に対する賛否</b>																																
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	×	×	×	○	24	10	34	不採択	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	31	3	34	研究留保	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	32	2	34	研究留保	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	32	2	34	趣旨採択	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	32	2	34	研究留保	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	31	3	34	不採択	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	32	2	34	不採択	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	32	2	34	研究留保	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	×	×	×	○	24	10	34	不採択	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	×	×	×	○	24	10	34	不採択	

議決結果…議案は「可決」「否決」「同意」「承認」「認定」等の区分による。  
 …請願・陳情は「採択」「趣旨採択」「研究留保」「不採択」の区分による。

議案等番号	件名	議決結果
⑱	鳥取県土地利用審査会委員の任命について	同意
⑳	鳥取県土地利用審査会委員の任命について	同意
㉑	鳥取県土地利用審査会委員の任命について	同意
㉒	鳥取県土地利用審査会委員の任命について	同意
㉓	鳥取県土地利用審査会委員の任命について	同意
㉔	鳥取県土地利用審査会委員の任命について	同意
㉕	鳥取県土地利用審査会委員の任命について	同意
㉖	平成28年度鳥取県一般会計補正予算	可決
㉗	北朝鮮による5度目の核実験等に関する意見書	可決
㉘	森林・林業・木材産業施策の積極的な展開を求める意見書	可決
㉙	「特殊土壌地帯災害防除及び振興臨時措置法」の期限延長を求める意見書	可決
㉚	私学助成の充実強化等に関する意見書	可決
陳情 28年-17	「特殊土壌地帯災害防除及び振興臨時措置法」の期限延長を求める意見書の提出について	採択
陳情 28年-18	私学助成に関する意見書の提出について	採択
陳情 28年-20	学校における交通ルールの周知徹底について	趣旨採択

高校生議会



鳥取県の次世代を担う高校生が議員役となって本会議場の壇上に立ち、知事や教育長らに本番さながらに質問する高校生議会が、8月9日(火)に開催された。

昨年度は大学・高専の学生が対象だったが、今年度は高校生が対象。県内全ての高校、特別支援学校高等部に参加を呼びかけたところ、10校から応募があり、合計12名の生徒が参加。生徒ごとに担当の県議会議員が付き、アドバイスを受けながら質問を作り上げていった。

議長役も高校生で、鳥取敬愛高等学校の大門みずきさんと米子松蔭高等学校の山根彰介さんの2名が交代で務めた。

公職選挙法の改正で選挙権年齢が18歳以上となり、高校生にとっても選挙や政治が身近な存在となる中、参加した生徒たちは普段の生活の中の疑問や思いを質問として練り上げて、福祉や環境、農業などあらゆる分野において鋭い質問をぶつけた。そして高校生議員の質問に対しては、平井知事、山本教育長、相見選挙管理委員会委員長などが、県議会本会議さながらに答弁を行った。

米子北高の小谷緑さんは、県が進めている水素エネルギーの活用推進や省エネなど環境問題について

質問や提案を行った。その中には自分で作った省エネソングの披露もあり、本会議場に楽しい歌が流れるという場面もあった。

参加した生徒の皆さんからは、「参加したことで議会や県政に興味を持つことができた。」「自分の意見を言うことで、鳥取県民だと強く自覚することができた。」などの感想が聞かれた。

(質問順)

高等学校名	生徒氏名	質問項目
米子東	木村 滯斗	手話を学べる場所、取り組みと活用の場について
米子松蔭	山根 彰介	鳥取県の少子高齢化防止への取組について
青翔開智	加藤 柊斗	若者のUターンについて
米子北	小谷 緑	水素エネルギー推進について
鳥取工業	松原 翔	満18歳以上の若者に選挙権が与えられましたが、若年者の選挙教育はどのような対策を取られましたか。
鳥取東	奥村 麻弥 徳安 友季	運転免許証自主返納制度の周知と公共交通機関の利用促進について
鳥取城北	前田 賢輝	鳥取県(鳥取市)内商店街の活性化について
倉吉農業	三谷 綾香	耕作放棄地対策について
米子	木下 貴裕	米子市における中心市街地の活性化について
鳥取敬愛	大門みずき	「防災リーダー」の育成と全公立中学校への配置について
鳥取城北	植嶋日奈子	奨学金制度について